



神於山GS臨時活動報告 岸和田・燈城に参加して

2015.3.13
シャープ社友会
社会貢献活動委員会

- 3月8日（日）14:00 から、SGCの神於山現役GSの金井さんご夫妻、社友GSの香遠さん、岡森さん、真砂（記）の5人で、岸和田城で開催された「岸和田・燈城」の竹燈籠の設置に参加しました。
- 「岸和田・燈城」は、同日 10:00～20:00 に、岸和田市が岸和田城を中心に開催した「岸和田藩 食の宴 2015」のイベントの一つで、燈籠の点灯は 17:20 ですが、城の近隣は、午前中から家族連れで賑わっていました。
- SGCが「燈城」に参加するのは今年で3年目ですが、その実績が買われたのか、今年SGCが担当したのは、天守閣直下の石庭に沿った絶好の場所で、寒い中、風で消えるロウソクに再点火を繰り返した昨年とは大違いでした。
- 「燈城」は、年々盛大になっていて、陶器や、紙袋・紙コップ・ガラス瓶など様々な燈籠が並びました。
- 特に和歌山大学の学生グループが作った燈籠は、完成度の高い芸術的なものでした。
- 来年は、更に充実した燈籠を出展したいと思っています。
※岸和田城の天守閣から、神於山の展望台が見えました。次回、逆に神於山から見てみたい気がします。

■設置風景 燈籠は神於山の竹を、また金井さん考案の転倒防止の足は、神於山の木の枝を利用しています。



天守閣から見た会場



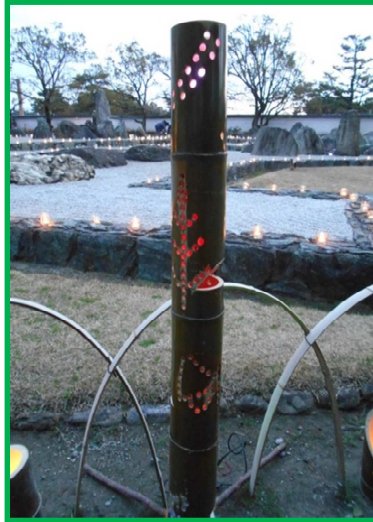
左上から右下角迄の通路沿いが SGC です

- 設置に参加した5名のGSの皆さん。
- 昨年ほどではないにしろ寒い中、設置した後も風で消えるロウソクの再着火に走り回って頂きました。
- お疲れ様でした。



■薄暮の点火。

岸和田城が夕日で赤く染まる中、一斉に点火しました。



- 思い思いの趣向を凝らせた燈籠に火が入り、会場は徐々に盛り上がってきました。
- 今年初めて設置したイルミネーションは、子供たちに“きれい”と好評でした。
- ひょっとすると来年は、他のグループも採用するかもです。



■日が暮れるとますます燈籠のあかりが映え、雰囲気盛り上がりました。





- 竹を素材に燈籠作りをしたのは、神於山保全クラブとSGCの2団体でした。
- 来年は、竹を素材にしなが、ろうソクが消えない工夫をする一方、照明をLEDや電球に換えるのも良さそうです。

■各団体の作品。

素材も照明も色々工夫されていて、参考になりました。



和歌山大学の学生さんの作品・芸術的です。



陶芸クラブさんの陶器の燈籠

- ボール状のものは、線が見えないので乾電池を使いLEDを光源にしているようです。
- ケミカルライトを組み合わせたオブジェも効果的でした。
- 電球を照明に使ったものも多くありましたが、やはりろうソクに拘りたい気もします。

- 竹と絵を描いた紙を組み合わせると、行燈風になると、ろうソクが風で消えることもなくなり、問題は解決します。

- 竹を加工して作る時は、風でろうソクが消えないようにデザインする事が大事です。



神於山保全クラブさんの紙コップ燈籠

以上